

佐土原町商工会
中小企業景況調査報告書

平成 29 年 4 月～6 月期

平成 29 年 9 月 30 日

佐 土 原 町 商 工 会

佐土原町商工会中小企業景況調査報告書

平成 29 年 4 月～6 月期

1. 調査要領

【調査対象】

(1) 対象地 佐土原町

(2) 回答企業数 61 企業

【調査対象期間】 平成 29 年 4 月～6 月を対象

【調査月】 平成 29 年 6 月

【調査方法】 佐土原町商工会会員による経営状況に関するアンケート調査

【調査データ産業別構成】

(1) 産業別構成

業種	回答企業数	構成比
サービス業	22	36.1%
卸・小売業	18	29.5%
製造業	9	14.8%
建設業	12	19.7%
合計	61	100.0%

(2) 従業員数別構成

従業員数	回答企業数	構成比
0 人	8	13.1%
1～5 人	36	59.0%
6～10 人	9	14.8%
11～20 人	6	9.8%
21 人以上	2	3.3%
合計	61	100.0%

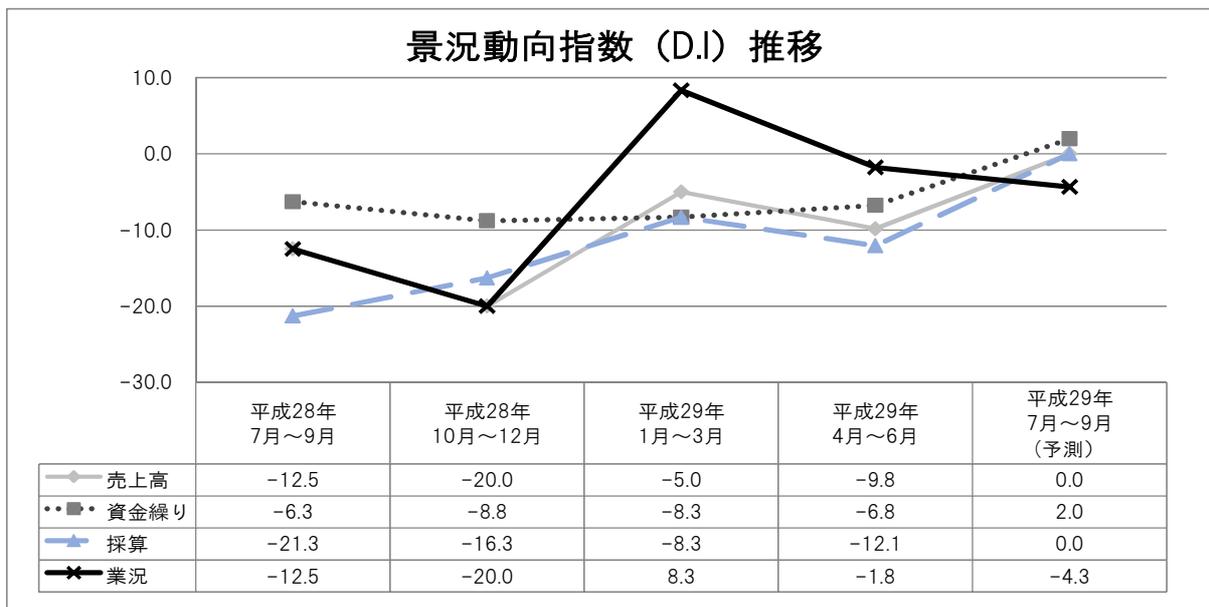
【その他】DI 値と天気マーク

本報告書中の DI 値とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で各調査項目についての増加（好転、上昇）企業割合から、減少（悪化、低下）企業割合を差し引いた値を示すものである。

					
30 ≤ DI (特に好調)	15 ≤ DI < 30 (好調)	0 ≤ DI < 15 (やや好調)	Δ15 ≤ DI < 0 (やや不振)	Δ30 ≤ DI < Δ15 (不振)	DI < Δ30 (きわめて不振)

2. 全業種の景況

①景況感の推移

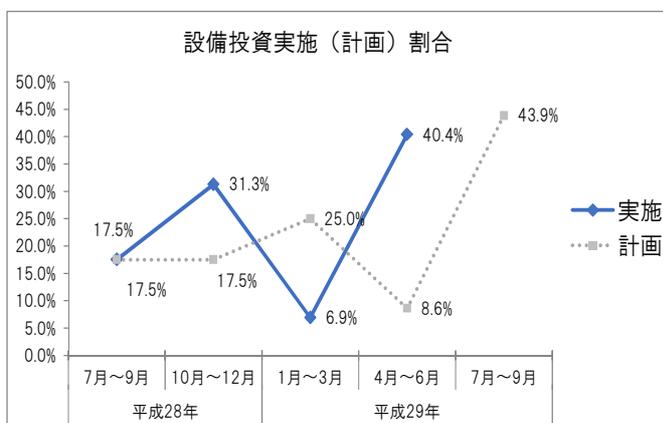


②景況の概況

	平成29年 4月～6月	平成29年 7月～9月	予測傾向
売上高			
資金繰り			
採算			
業況			

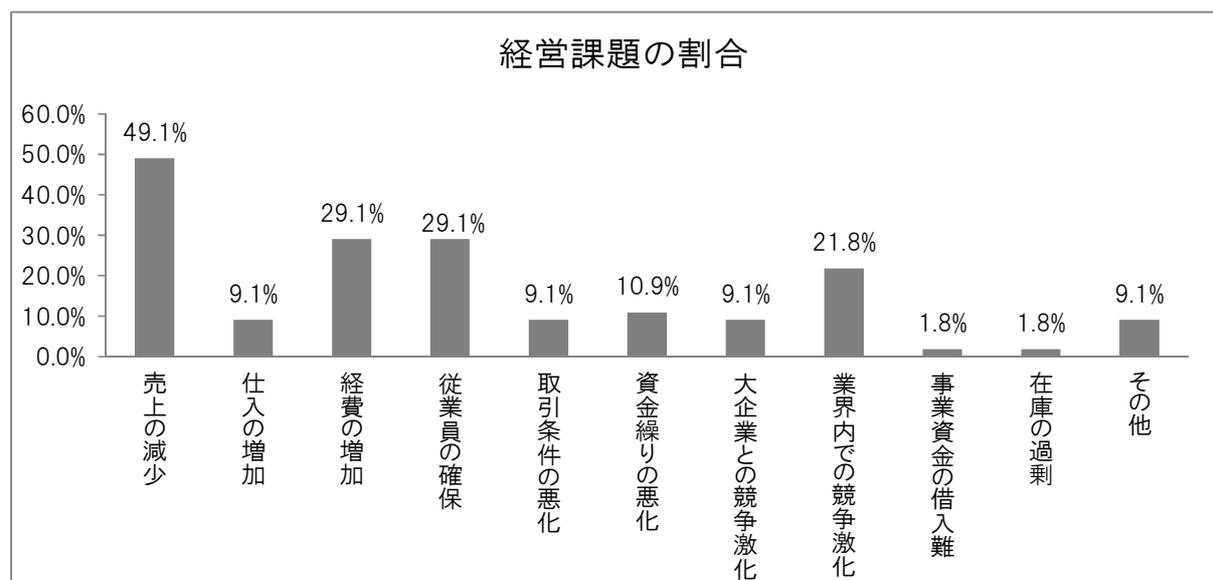
- 今期の景気動向指数(DI値)は、売上高で▲9.8、資金繰りで▲6.8、採算で▲12.1、業況で▲1.8となり、売上高、採算はやや減少幅が拡大し、業況は大きくマイナスに転じた。資金繰りは前期並の厳しさが続いた。
- 来期の予測は、売上高で0.0(9.8pt増)、資金繰りで2.0(8.8pt増)、採算で0.0(12.1pt増)業況で▲4.3(2.5pt減)と、売上高、採算は大きく改善し、資金繰りは大きく容易となるが、業況はやや厳しさが増す見通し。

③設備投資概況



- 今期の設備投資実施割合は40.4%で、計画を大きく上回った。
投資実施内容は下記の通り(複数回答)。
・土地(2件) ・建物(4件)
・建設機械(2件) ・車両・運搬具(5件)
・付帯施設(4件) ・OA機器(2件)
・その他(9件)
- 来期の設備投資計画割合は43.9%で、わずかに増加する見込み。
投資計画内容は下記の通り(複数回答)。
・土地(1件) ・建物(3件)
・建設機械(3件) ・車両・運搬具(4件)
・付帯施設(6件) ・OA機器(2件)
・福利厚生施設(1件) ・その他(9件)

④経営課題



	売上の減少	仕入の増加	経費の増加	従業員の確保	取引条件の悪化	資金繰りの悪化	大企業との競争激化	業界内での競争激化	事業資金の借入難	在庫の過剰	その他
回答件数 (件)	27	5	16	16	5	6	5	12	1	1	5
割合 (%)	49.1%	9.1%	29.1%	29.1%	9.1%	10.9%	9.1%	21.8%	1.8%	1.8%	9.1%

●経営課題の上位3位は

- <1位> 「売上の減少」 49.1%
- <2位> 「経費の増加」 ・ 「従業員の確保」 29.1%
- <3位> 「業界内での競争激化」 21.8%

●「売上の減少」が最も多く、およそ半数を占めた。

●今期も概ね前期同様の順位となったが、同率2位として「経費の増加」が新たに挙がった。

⑤全業種概況

平成29年4～6月期の景況感は、売上高、採算でやや減少幅が拡大し、業況は大きくマイナスに転じた。一方、資金繰りは前期並の厳しさを推移した。

業況については、サービス業は幾分上向き、建設業も前期並の好感が続いたが、卸・小売業で極端に厳しさを強め、製造業でも大きく低迷したため、全体もマイナスに転じたとみられる。

売上高については、製造業でかなり増加を強め、卸・小売業で大きく改善したものの、サービス業で前期並の減少が続き、建設業で大きく伸び悩んだため、全体で減少が強まったとみられる。

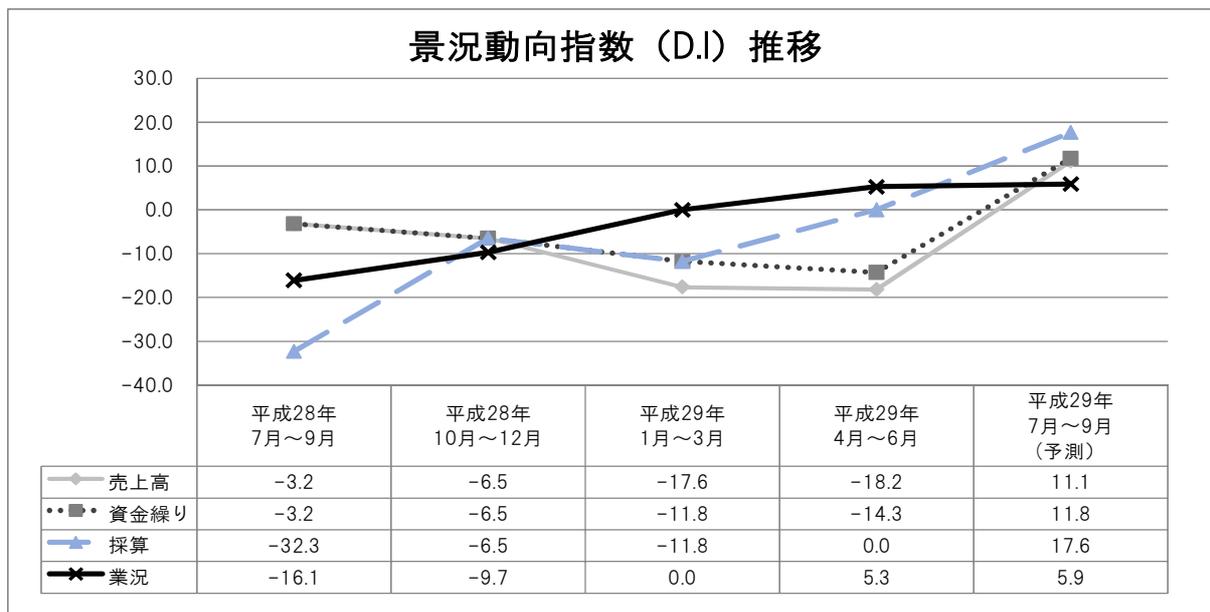
採算については、サービス業は大きく持ち直したが、卸・小売業、製造業でかなり減少が強まり、建設業も大きく伸び悩んだため、全体では減少が強まったとみられる。

資金繰りについては、製造業、サービス業とともに厳しさを増したものの、卸・小売業、建設業で窮屈感を脱したため、全体では前期並の厳しさとなったと推測される。

宮崎県全体の今期の傾向は、売上高、採算、資金繰りは大きく改善し、業況も幾分改善した。来期の予測は、売上高は大きく、採算はやや悪化し、資金繰りは今期並と見込まれ、業況は来期もわずかに改善すると見込まれている。

3. サービス業の景況

①景況感の推移

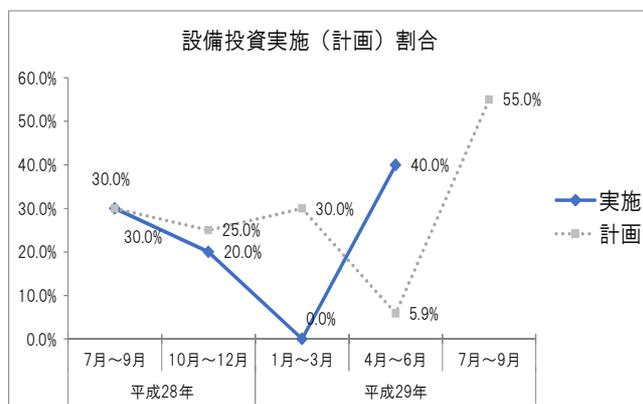


②景況の概況

	平成29年 4月～6月	平成29年 7月～9月	予測傾向
売上高			
資金繰り			
採算			
業況			

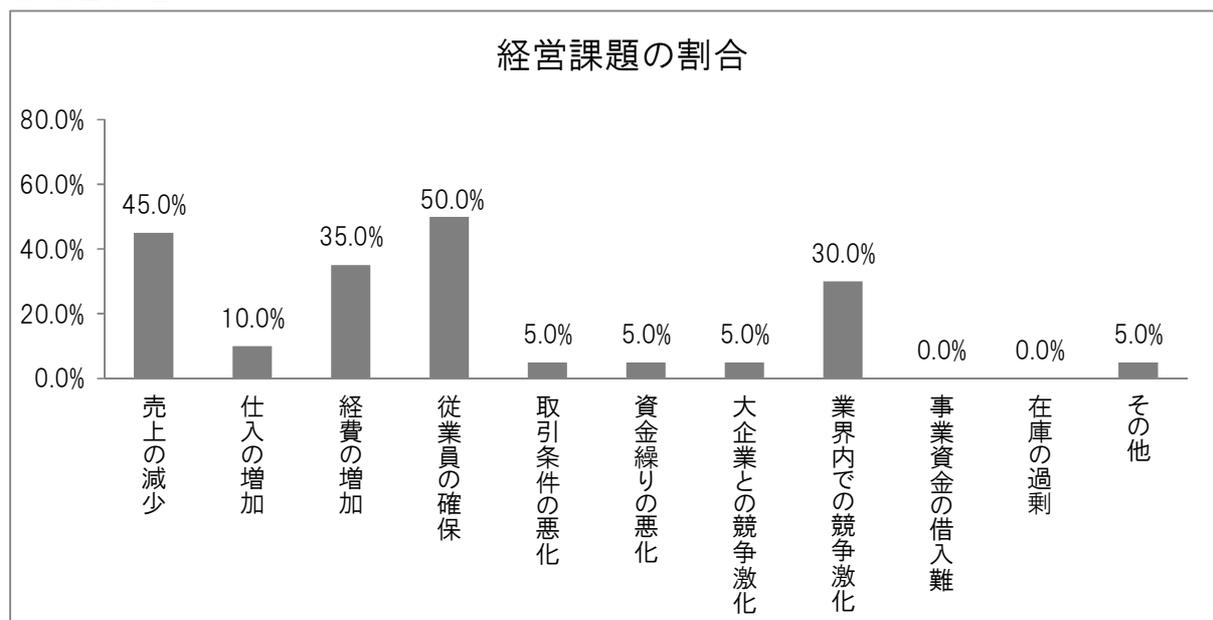
- 今期の景況動向指数 (DI 値) は、売上高で▲18.2、資金繰りで▲14.3、採算で 0.0、業況で 5.3 となり、売上高は前期並の厳しさが続き、資金繰りもやや厳しさが強まった。一方、採算は大きく持ち直し、業況は幾分良好感が強まった。
- 来期の予測は、売上高で 11.1 (29.3pt 増)、資金繰りで 11.8 (26.1pt 増)、採算で 17.6 (17.6pt 増)、業況で 5.9 (0.6pt 増) と、売上高、採算はともに大幅に改善し、資金繰りは極端に窮屈感を脱する見込み。業況は今期同様の良好感が続く見通し。

③設備投資概況



- 今期の設備投資実施割合は 40.0%で、予想を大きく上回った。
投資実施内容は下記の通り (複数回答)。
 - ・土地(1 件)
 - ・建物(3 件)
 - ・建設機械(1 件)
 - ・車両・運搬具(1 件)
 - ・付帯施設(1 件)
 - ・OA 機器(1 件)
 - ・その他(3 件)
- 来期の設備投資計画割合は 55.0%で、大きく増加する見込み。
投資計画内容は下記の通り (複数回答)。
 - ・建物(3 件)
 - ・建設機械(1 件)
 - ・車両・運搬具(2 件)
 - ・付帯施設(4 件)
 - ・OA 機器(1 件)
 - ・その他(3 件)

④経営課題



	売上の減少	仕入の増加	経費の増加	従業員の確保	取引条件の悪化	資金繰りの悪化	大企業との競争激化	業界内での競争激化	事業資金の借入難	在庫の過剰	その他
回答件数 (件)	9	2	7	10	1	1	1	6	0	0	1
割合 (%)	45.0%	10.0%	35.0%	50.0%	5.0%	5.0%	5.0%	30.0%	0.0%	0.0%	5.0%

●経営課題の上位3位は

<1位> 「従業員の確保」 50.0%

<2位> 「売上の減少」 45.0%

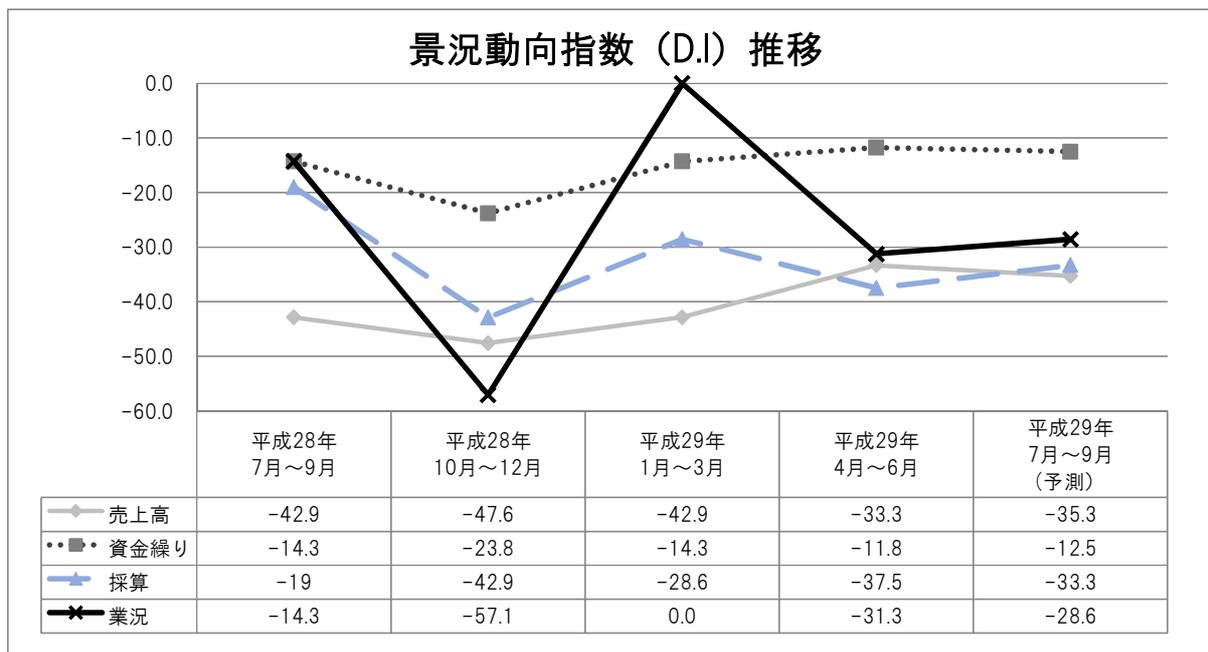
<3位> 「経費の増加」 35.0%

●「従業員の確保」が前期より増加して半数となり、最多となった。

●前期に比べ「売上の減少」の占める割合は減少し、その一方で「経費の増加」の割合が増加した。

4. 卸・小売業の景況

①景況感の推移



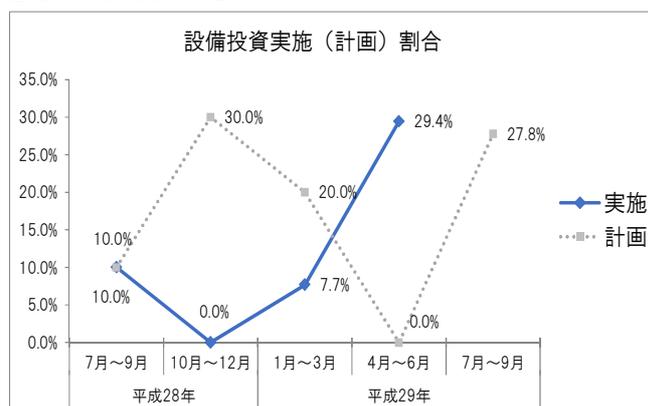
②景況の概況

	平成29年 4月～6月	平成29年 7月～9月	予測傾向
売上高			
資金繰り			
採算			
業況			

●今期の景況動向指数 (DI 値) は、売上高で▲33.3、資金繰りで▲11.8、採算で▲37.5、業況で▲31.3 となり、売上高は大きく持ち直し、資金繰りはやや厳しさが和らいだ。一方、採算は大きく減少幅が拡大し、業況は極端に厳しさを強めた。

●来期の予測は、売上高で▲35.3 (2.0pt 減)、資金繰りで▲12.5 (0.7 pt 減)、採算で▲33.3 (4.2pt 増)、業況で▲28.6 (2.7pt 増) と、売上高はわずかに減少を強め、資金繰りは今期並の厳しさを推移する見込み。一方で、採算はやや改善し、業況は多少持ち直す見通し。

③設備投資概況



●今期の設備投資実施割合は 29.4%で、予想を大きく上回った。

投資実施内容は下記の通り (複数回答)。

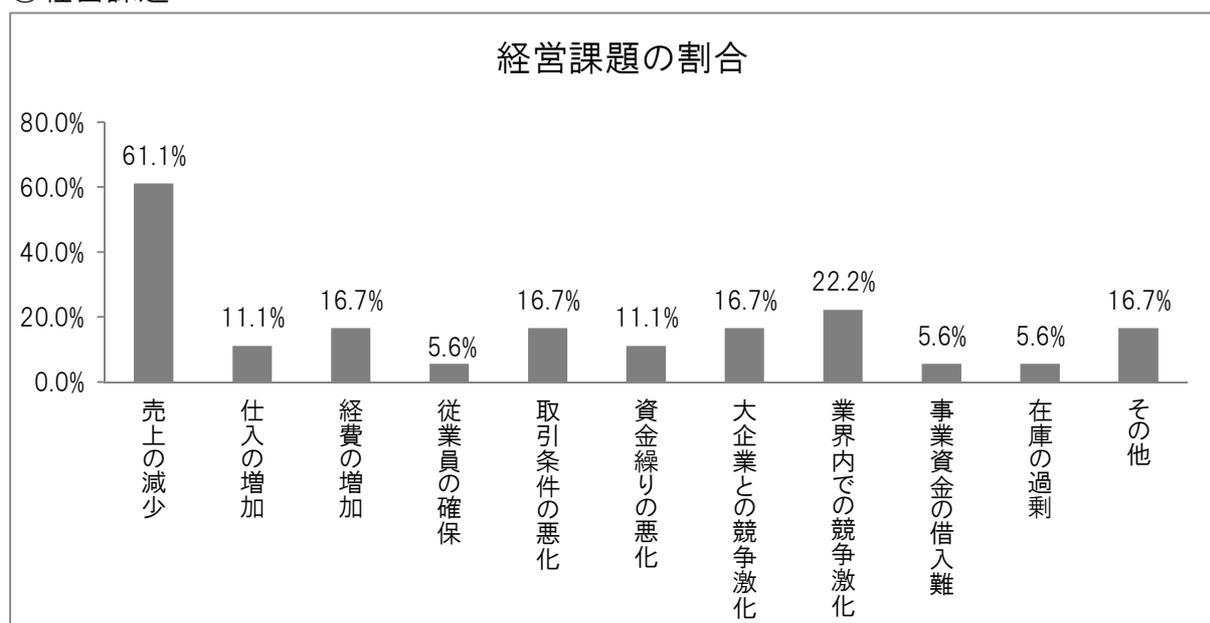
- ・土地(1件)・付帯施設(1件)
- ・その他(3件)

●来期の設備投資計画割合は 27.8%で、今期並となる見込み。

投資計画内容は下記の通り (複数回答)。

- ・車両・運搬具(1件)・付帯施設(1件)
- ・その他(3件)

④経営課題



	売上の減少	仕入の増加	経費の増加	従業員の確保	取引条件の悪化	資金繰りの悪化	大企業との競争激化	業界内での競争激化	事業資金の借入難	在庫の過剰	その他
回答件数 (件)	11	2	3	1	3	2	3	4	1	1	3
割合 (%)	61.1%	11.1%	16.7%	5.6%	16.7%	11.1%	16.7%	22.2%	5.6%	5.6%	16.7%

●経営課題の上位3位は

<1位> 「売上の減少」 61.1%

<2位> 「業界内での競争激化」 22.2%

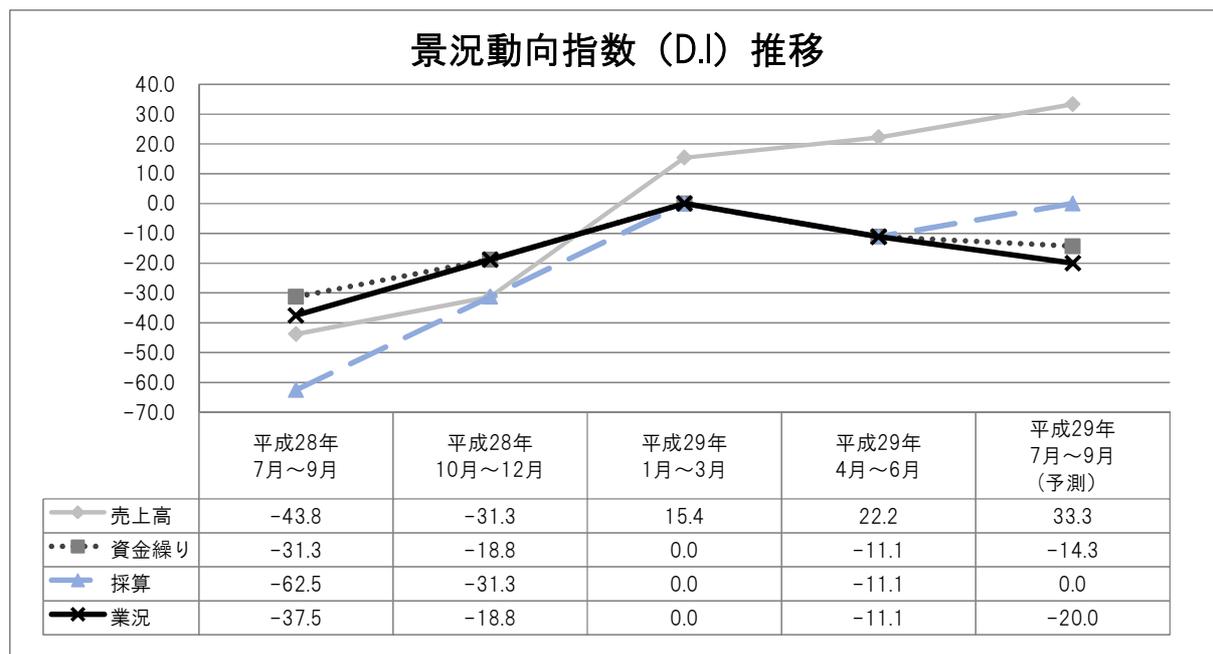
<3位> 「経費の増加」 ・ 「取引条件の悪化」 ・ 「大企業との競争激化」 16.7%

● 「売上の減少」 が6割を超え、最多となった。

● 「業界内での競争激化」 及び 「大企業との競争激化」といった、顧客争奪に関する回答が、前期に引き続き多く見受けられた。

5. 製造業の景況

①景況感の推移

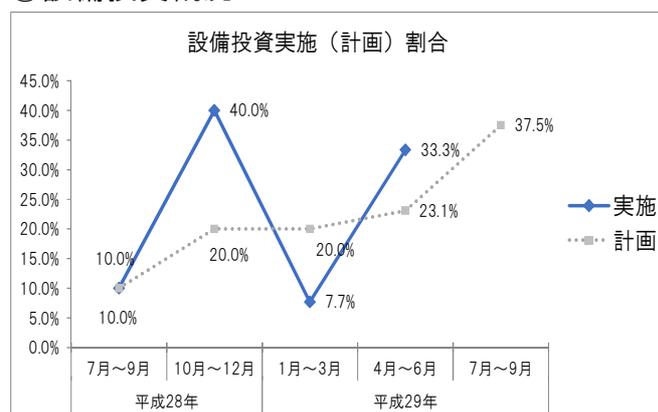


②景況の概況

	平成29年 4月～6月	平成29年 7月～9月	予測傾向
売上高			
資金繰り			
採算			
業況			

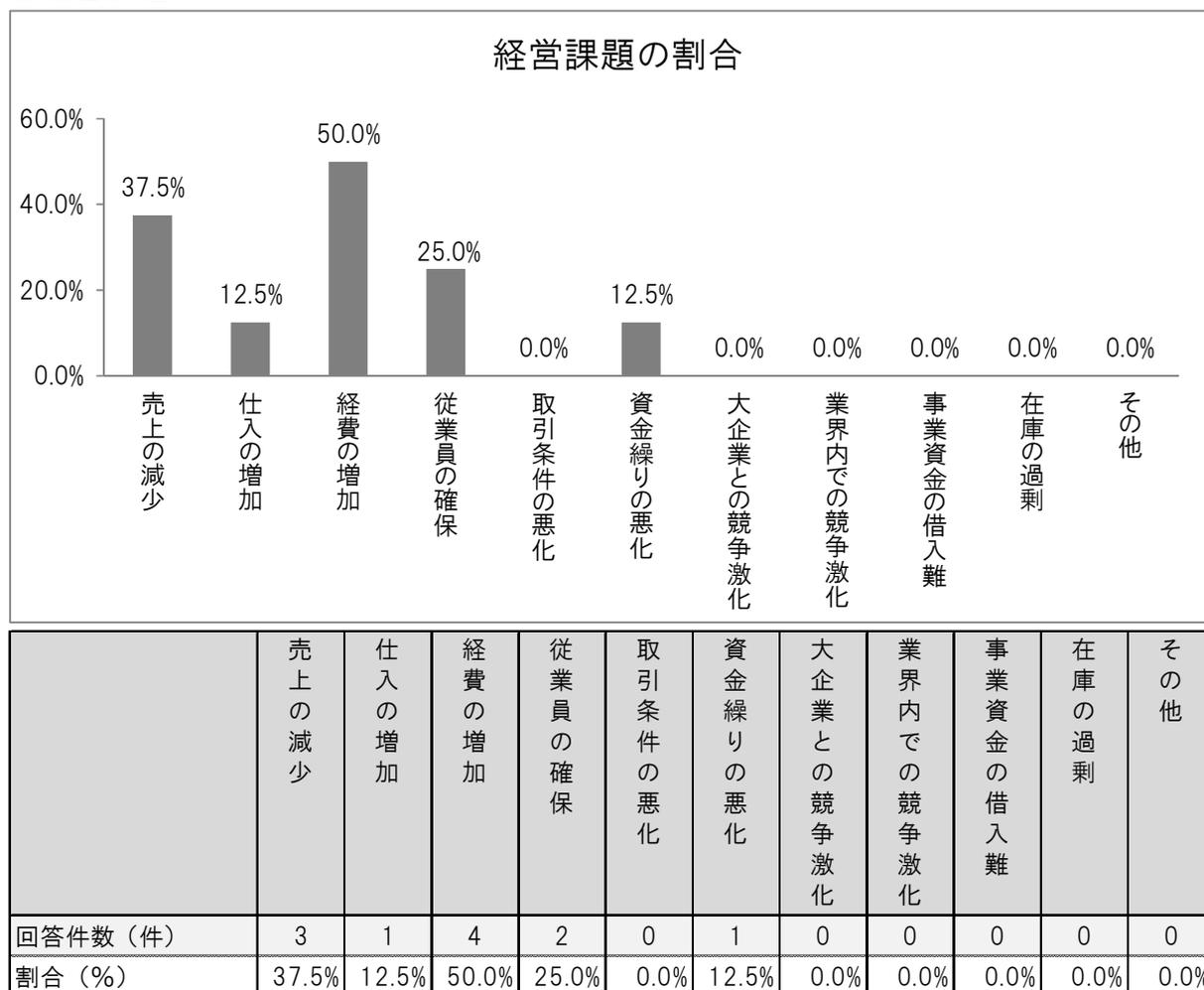
- 今期の景況動向指数 (DI 値) は、売上高で 22.2、資金繰りで▲11.1、採算で▲11.1、業況で▲11.1 となり、売上高で大きく増加幅が拡大した一方、採算、業況は大きく悪化を強め、資金繰りはかなり厳しさを増した。
- 来期の予測は、売上高で 33.3 (11.1pt 増)、資金繰りで▲14.3 (3.2pt 減)、採算で 0.0 (11.1pt 増)、業況で▲20.0 (8.9pt 減) となり、売上高は大きく増加が強まり、採算は大きく持ち直すが、業況は大幅に厳しさが増す見通し。また、資金繰りもわずかに苦しさが強まる見込み。

③設備投資概況



- 今期の設備投資実施割合は 33.3% で、予想を大きく上回った。
投資実施内容は下記の通り (複数回答)。
 - ・ 付帯施設 (2 件)
 - ・ OA 機器 (1 件)
- 来期の設備投資計画割合は 37.5% で、わずかに増加する見込み。
投資計画内容は下記の通り (複数回答)。
 - ・ 土地 (1 件)
 - ・ 建設機械 (1 件)
 - ・ 付帯施設 (1 件)

④経営課題



●経営課題の上位3位は

<1位>「経費の増加」50.0%

<2位>「売上の減少」37.5%

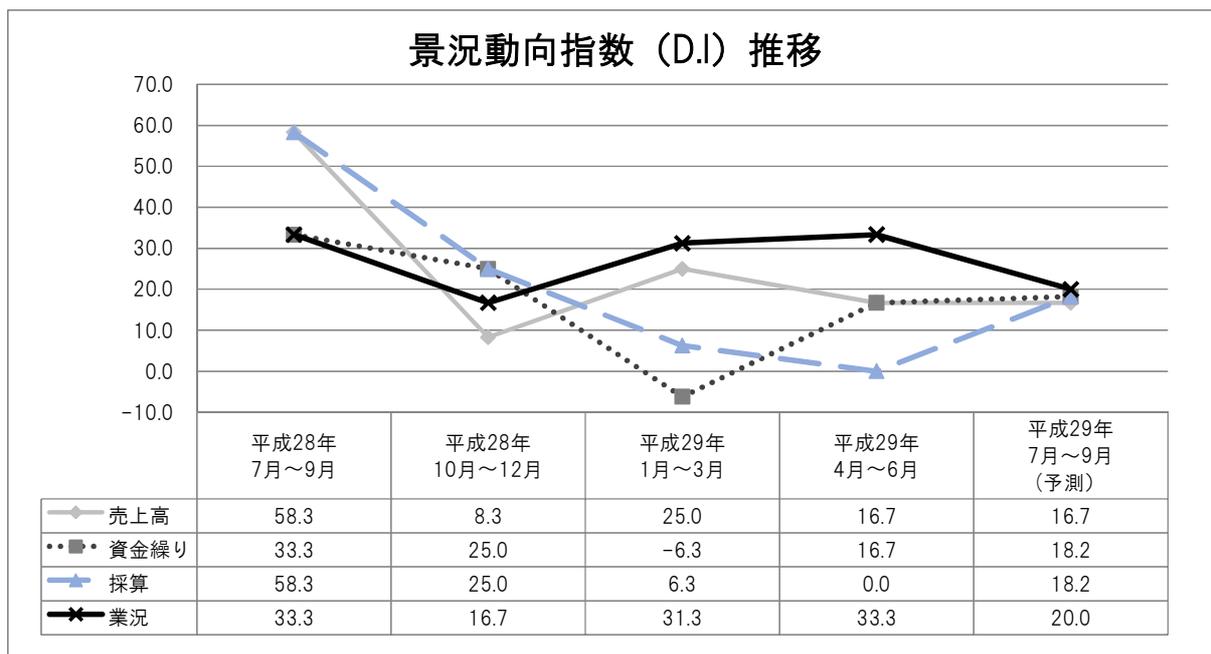
<3位>「従業員の確保」25.0%

●「経費の増加」が5割で1位となり、前期1位の「従業員の確保」は25.0%で3位となった。

●前期と比べ、上位3つの項目は変わらなかった。

6. 建設業の景況

①景況感の推移

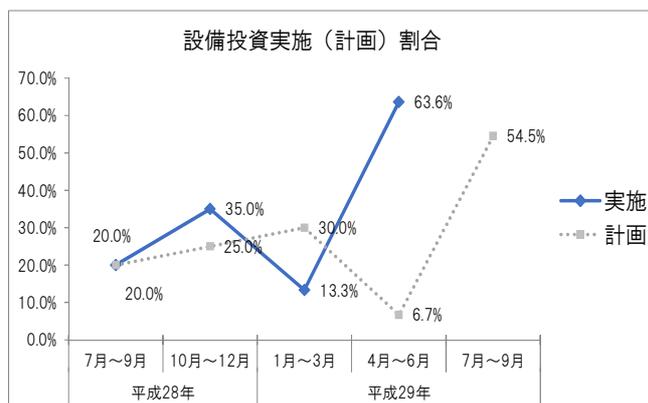


②景況の概況

	平成29年 4月～6月	平成29年 7月～9月	予測傾向
売上高			
資金繰り			
採算			
業況			

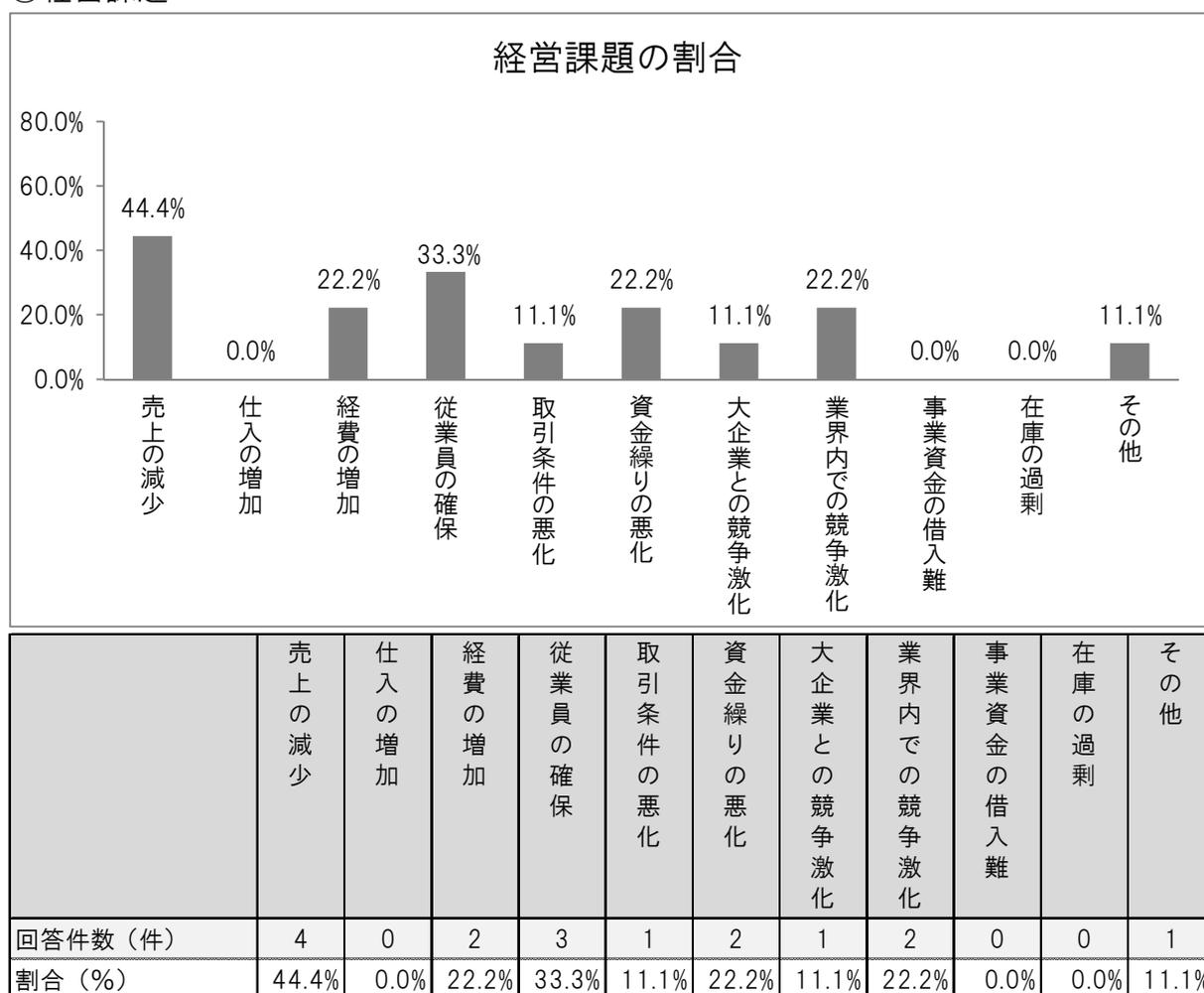
- 今期の景況動向指数(DI値)は、売上高で16.7、資金繰りで16.7、採算で0.0、業況で33.3となり、売上高、採算は大きく伸び悩んだが、業況はやや良好感を強め、資金繰りは窮屈感を脱した。
- 来期の予測は、売上高で16.7(増減なし)、資金繰りで18.2(1.5pt増)、採算で18.2(18.2pt増)、業況で20.0(13.3pt減)と、採算は大きく強含み、売上高は今期並の良好感が続く見込み。資金繰りは今期並の容易さで推移し、業況は好調感が大きく後退する見通し。

③設備投資概況



- 今期の設備投資実施割合は63.6%で、計画を非常に大きく上回った。投資実施内容は下記の通り(複数回答)。
 - ・建物(1件) ・建設機械(1件)
 - ・車両・運搬具(4件) ・その他(3件)
- 来期の設備投資計画割合は54.5%で、大きく減少する見込み。投資計画内容は下記の通り(複数回答)。
 - ・建設機械(1件) ・車両・運搬具(1件)
 - ・OA機器(1件) ・福利厚生施設(1件)
 - ・その他(3件)

④経営課題



●経営課題の上位3位は

<1位> 「売上の減少」 44.4%

<2位> 「従業員の確保」 33.3%

<3位> 「経費の増加」 ・ 「資金繰りの悪化」 ・ 「業界内での競争激化」 22.2%

● 「売上の減少」 が4割を超えて1位となり、前回1位の「従業員の確保」は約3割で2位となった。

● 「売上の減少」「経費の増加」「資金繰りの悪化」といった収支に関する課題が上位に挙がっている。

7. 景況概要のまとめ（業種別）

① サービス業

前期と比較した今期のサービス業は、売上高は前期並の厳しさが続き、資金繰りは前期に続きさらに厳しさを強めた。採算は前期やや悪化したものの今期は大きく持ち直した。前期は大幅に改善した業況は、今期も幾分改善となった。来期は、売上高、資金繰りは極端に改善して水面下を脱し、採算は大きく改善する見込みである。業況は今期同様の良好感が続く見通しとなっている。

宮崎県内のサービス業の今期の動向は、全体で改善傾向がみられた。来期の見通しは、売上高で大きく悪化がみられ、資金繰りもやや悪化となる見込みだが、採算は今期並みの水準で、業況はやや改善する見通しとなっている。全国的には、今期の売上高、資金繰りはともにやや改善し、採算は大きく増加、業況はやや改善となった。来期の採算、業況は引き続きやや改善する見通しである。

② 卸・小売業

前期と比較した今期の卸・小売業は、売上高は水面下ながら大きく持ち直し、資金繰りは前期に続いてさらに厳しさが和らいだ。採算は前期持ち直したものの、今期は減少幅が大きく拡大し、前期に極端な改善がみられた業況は、今期非常に大きく厳しさを強める結果となった。経営課題において「売上の減少」が61.1%と6割を超える割合で挙がっていることから、依然として厳しい状況にあることがうかがえる。来期は、売上高はわずかに減少を強め、資金繰りは今期並の厳しさが続く見込み。一方、採算はやや改善し、業況は多少持ち直す見通しとなっている。

宮崎県内の小売業の今期の動向は、売上高と採算で大きく改善がみられ、資金繰りはやや改善した。一方、業況は大きく悪化した。来期の見通しは、採算が大きく悪化、売上高、資金繰りもやや悪化すると見込まれており、業況は今期同様の悪化幅となる見通しである。全国的には、今期の売上高は横ばいで、資金繰りはやや増加、採算は大きく増加し、業況はやや改善した。来期の採算、業況ともに今期並みの水準となる見通しである。

③ 製造業

前期と比較した今期の製造業は、売上高は大きく増加幅が拡大した。一方で、採算、業況、資金繰りは、いずれも前期は厳しさが和らいだものの今期再び厳しい状況に転じた。経営課題では「経費の増加」が50.0%と半数を占め、収益や資金繰りが課題となっていることがうかがえる。来期は、売上高は大きく増加が強まり、採算は大きく持ち直すが見込みだが、業況、資金繰りは厳しさが増す見通しとなっている。

宮崎県内の製造業の今期の動向は、売上高、採算は大きく増加し、資金繰りはやや改善がみられ、業況は前期並みの水準である。来期の見通しは、売上高は今期並みの水準で、採算は、やや改善、資金繰り、業況は大きく改善する見通しとなっている。全国的には、今期の採算は大きく改善し、売上高もやや改善、資金繰りは横ばいとなった。業況は、やや改善した。来期は採算が横ばい、業況はやや改善すると見込まれている。

④ 建設業

前期と比較した今期の建設業は、売上高、採算は大きく伸び悩み、経営課題においても「売上の減少」が44.4%と4割を超え最多となっている。一方、前期窮屈感が現れた資金繰りは、今期容易な状況に転じ、業況は前期並の良好感が続いた。来期は、採算は大きく強含み、売上高は今期並の良好感が続き、資金繰りは今期並の容易さとなる見込み。一方、業況は大きく悪化する見通しである。

宮崎県内の建設業の今期の動向は、採算、業況は幾分改善がみられ、資金繰りは大きく改善がみられた。売上高は前期同様の水準である。来期の見通しは、売上高、採算、資金繰りは大幅に悪化し、業況は多少悪化する見通しとなっている。全国的には今期の採算はやや改善し、売上高はやや悪化、資金繰り、業況はやや改善となった。来期の採算、業況は若干悪化の見通しとなっている。

【参考データ】 宮崎県商工会連合会（平成29年4月～6月期）

経済産業省 中小企業景況調査（平成29年4月～6月期）

8. 参考：景況に関するアンケート調査票

平成 29 年度経営発達支援事業

経済動向調査(第 1 四半期)

景況に関するアンケート 調査票

佐土原町商工会

佐土原町商工会では小規模事業者の発展を目的とした経営発達支援事業に取り組んでいます。

その一環としてのアンケート調査です。ご協力をお願いします。

事業所名 _____ 業種 _____ 従業員数 _____ 名

1 経営状況について

問 1. 今期（7 月～9 月）の経営状況は、前年同期と比較してどうですか？

また、来期（10 月～12 月）の見通しについてあてはまるものに○を 1 つつけてください。

	今期（今年）の経営状況			来期（来年）の見通し		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少
① 売上高						
② 資金繰り						
③ 採算（経常利益）						
④ 業況（※）						

（※）事業所にとっての景気の状態を記載してください。

2 設備投資について

問 2. 設備投資の実績及び予定について、あてはまるものに○を 1 つつけてください。

（1）今期の設備投資 1. 実施した 2. 実施していない

（2）来期の設備投資 1. 計画あり 2. 計画していない

（3）実施した場合、計画ありの場合の投資内容（あてはまるものに○を 1 つつけてください。）

今期の設備投資				来期の設備投資			
土地	建物	建設機械	車両・運搬具	土地	建物	建設機械	車両・運搬具
付帯施設	OA 機器	福利厚生施設	その他	付帯施設	OA 機器	福利厚生施設	その他

3 経営課題について

問 3. 現在の経営課題について、あてはまるものに○をつけてください。（複数回答可：3 つ以内）

1. 売上の減少 2. 仕入の増加 3. 経費の増加 4. 従業員の確保 5. 取引条件の悪化
 6. 資金繰りの悪化 7. 大企業との競争の激化 8. 業界内での競争激化 9. 事業資金の借入難
 10. 在庫の過剰 11. その他（ ）

問 4. 商工会に相談したい経営課題、経営支援の希望がございましたら自由にご記入ください

ご協力ありがとうございました

佐土原町商工会
中小企業景況調査報告書
(平成 29 年 4 月～6 月期)

平成 29 年 9 月発行

佐土原町商工会

〒880-0211

宮崎県宮崎市佐土原町下田島 20732-53

■TEL : 0985-73-2567

■FAX : 0985-73-4975